

第1回 青森県新広域道路交通ビジョン等の検討に係る有識者会議

概要

1. 日時

平成30年11月19日（月） 13時00分～

2. 場所

青森河川国道事務所 2F 大会議室

3. 議事

- (1) 会議の設立について
 - ・ 設立趣旨、規約説明
 - ・ 委員長選出
- (2) 青森県新広域道路交通ビジョン(素案)について
- (3) 広域道路ネットワーク選定の考え方について
- (4) その他

4. 議事概要

- 有識者会議委員長として、八戸工業大学武山教授が選出された。
- ビジョン素案及び広域道路ネットワーク選定の考え方について、以下の助言を頂いた。
 - ・ 青森県は北海道と本州をつなぐ通過点としての物流・人流の面でも大きな役割を担っていることから、隣接道県の連携が重要。
 - ・ 道路整備により観光地間の移動時間が短縮され観光客が増加しているため県内だけでなく隣接県との周遊観光ネットワークが必要。
 - ・ 物流の効率化に向けては、モーダルミックスも視野に東北圏全体における最適な箇所に大型の物流ターミナルが必要。
 - ・ 救援物資を最後までしっかり届けることが重要であるが、避難所はどう考えるか。また、トラック事業者集積地域の拠点追加も必要。
 - ・ 基幹道路や代替路となる路線の適切な維持管理が重要。
 - ・ 交流拠点が設定されている都市にある鉄道駅は拠点に位置づけられるべき。
 - ・ 主要観光地が12箇所しかないのは少なすぎる。
 - ・ 道の駅は道路の情報発信拠点としても重要。



協議会の様子

令和 3 年度

第 1 回 青森県新広域道路交通ビジョン等の検討に係る有識者会議

1. 日 時

令和 3 年 6 月 4 日（金） 14 時 00 分～15 時 00 分

2. 場 所

青森河川国道事務所 2F 大会議室

3. 議 事

- (1) 青森県新広域道路交通ビジョン（案）について
- (2) 青森県新広域道路交通計画（案）について
- (3) その他

4. 議事概要

- ビジョン（案）及び計画（案）について、以下の助言を頂いた。
 - ・ 自動運転等技術の進展や、道の駅の交通拠点での観光情報、車両整備、ガス・水素ステーション等のワンストップサービス向上、物流システム高度化など、将来を見据えたビジョンとなれば良い。
 - ・ 朝採れの産品を海外にスピード輸送するためには、空港・港湾へのアクセス性の高い道路網が必要で、それが差別化要素となる。
 - ・ 配送事業者は、大雪の際の事業継続は苦慮しており、除排雪管理システムによる管理を推進していただきたい。
 - ・ 津軽自動車道等の広域道路は、緊急時の医療面や生活向上面でも多大に寄与と考えられる。
 - ・ 地域物流の観点から津軽港からのアクセス性向上、防災・観光の観点からは鱒ヶ沢～能代間が課題と考える。
 - ・ 縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されると広域観光のコンテンツとなる。観光交通も考慮し観光拠点とどう繋ぐのかも示せれば良い。
 - ・ 県毎の作成であるが他県との繋がりが抜け落ちないように留意していただきたい。
 - ・ 災害時における安定的な輸送確保に向けて、啓開活動や被災者支援を行う民間との連携の視点も考慮していただきたい。
 - ・ トラック輸送利用が多い広域道路ネットワークでは、災害や大雪に備え、通行支障時の標識での案内を充実していただきたい。
 - ・ 観光分野ではマイクロツーリズムが多く出来ているので道路計画においても新しいものを取り入れながらとりまとめていただきたい。

